

東アジア福祉国家論の比較検討（上村泰裕）

2004.11.27. アジアの社会保障と企業内福祉研究会

	対象国	キーワード	形成要因	特徴	同質性の程度	政府の役割	家族の役割	企業の役割	グローバル化
Ramesh (2000)	インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ	福祉資本主義	政治体制の正統化。	①所得保障よりも教育・医療を重視。②公務員・軍人の優遇。③インフォーマル部門に対する制度未整備。	異質性の強調。	言及なし。	言及なし。	言及なし。	影響なし。政策担当者の言い訳として機能。
Holliday & Wilding (2003)	香港、シンガポール、韓国、台湾	生産主義的福祉資本主義	①経済成長、②若い人口構成、③強力な家族、④社会的抗議の限定、⑤西洋福祉国家に対する政府の批判の成功。	①政治的目的の重視、②経済発展と完全雇用が手段、③生産主義的福祉、④福祉国家主義の敬遠、⑤家族の役割重視、⑥強力が限定された国家。	基本的な特徴は共通。	供給ではなく規制。	儒教の伝統によって家族の義務を強調。	言及なし。	社会政策の発展にプラスに作用。
Goodman & Peng (1996)	日本、韓国、台湾	日本を中心とした東アジア社会福祉レジーム	国家建設を第一目標とした道徳的・適応的学習と発展戦略。	①国家福祉の必要性の多くを否定するように見える家族福祉システム、②職業別で、しかもいくぶん残余的な社会保険を基盤としたシステム、③大企業の中核労働者を中心とした企業福祉。	基本的な特徴は共通。	残余的な役割。	家族福祉。	企業福祉。	西欧モデルと東アジアモデルの葛藤。
Esping-Andersen (2001)	日本	日本型福祉国家	言及なし。	①家族による福祉供給の重要性、②企業の職域福祉の重要性、③教育と雇用の重視。保守主義と自由主義の混合。		残余的な役割。	家族福祉。	企業福祉。	日本の福祉システムは発展途上にあり、完成体の段階に達していない。
Rieger & Leibfried (2003)	香港、シンガポール、韓国、台湾、日本	東アジア福祉国家	プロテスタンティズムに対する儒教倫理。	普遍主義 (universalism) に対する個別主義 (particularism) の優先。	基本的な特徴は共通。	市民権の発展なし。	親孝行の重視。	企業における家族主義。	西欧との大きな違いは存続する。

Ramesh(2000) *Welfare Capitalism in Southeast Asia: Social Security, Health and Education Policies* , Palgrave.

Holliday & Wilding (2003) *Welfare Capitalism in East Asia: Social Policy in the Tiger Economies* , Palgrave.

Goodman & Peng (1996=2003) 「東アジア福祉国家」エスピン-アンデルセン編『転換期の福祉国家——グローバル経済下の適応戦略』(早稲田大学出版部)。

Esping-Andersen (2001) 「日本語版への序文」エスピン-アンデルセン『福祉資本主義の三つの世界——比較福祉国家の理論と動態』(ミネルヴァ書房)。

Rieger & Leibfried (2003) *Limits to Globalization* , Polity Press.